

ファカルティ・ディベロップメント (FD : Faculty Development) 「大学教員の教育能力を高めるための実践的方法」のことであり、大学の授業改革のための組織的な取り組み方法

日本：文科省 → http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/003/gijiroku/06102415/004.htm

米国・カナダ ProD(Professional Development)

EduD(Educational Development)

大学教員準備プログラム：PFF(Preparing Future Faculty)

文科省 学士課程教育の構築に向けて（答申） → http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/toushin/1217067.htm

FD

中教審の学士力

4分野13項目

- 1.知識・理解
 - 多文化・異文化に関する知識の理解
 - 人類の文化、社会と自然に関する知識の理解
- 2.汎用的技能
 - コミュニケーション・スキル
 - 数值的スキル
 - 情報リテラシー
 - 論理的思考力
 - 問題解決力
- 3.態度・志向性
 - 自己管理能力
 - チームワーク、リーダーシップ
 - 倫理観
 - 市民としての社会的責任
 - 生涯学習力
- 4.統合的な学習経験と創造的思考力
 - 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを活用し、その課題を解決する能力

ポートフォリオ

3分野(知識・技能・態度)をすべて網羅し、総合的学習法
学習者を成長させることに重点
総合力を育てるのがポートフォリオ

授業評価

- カナダ 49の評価項目
360の行為動詞
- 従来の評価 学習を向上させる多くの視点を見失う
表面的な知識だけを測る
- 今後の評価 プロセス重視
学生のフィードバックを学習に活かす
Deep Learning: 深い学び

小中高：学習ポートフォリオ

- 強力なドキュメント 学生の学習について知ることができる
- 3つの要素：
 - 1.リフレクション(Reflection) 省察(せいさつ・しょうさつ)：振り返り
 - 2.ドキュメンテーション(Documentation) リフレクション・シート
証拠資料 学生の学習過程について知ることができる
 - 3.コラボレーション/メンタリング(Collaboration/Mentoring)
 - 共同作業 仲間から質問・素朴な疑問
尋ねられることが重要
 - メンター(Mentor)と呼ばれる指導者が、対話による気づきと助言により、
学習者の自発的・自律的な発達を促す方法
→ コーチング、カウンセリング

ジョン・ズビザレタ教授の講演資料から

- 構成 1.学習哲学 2.学習業績 3.学習証拠 4.学習アセスメント 6.学習目標 7.付録
↑ ティーチング・ポートフォリオとほぼ同じ：学習→教育
- ポイント
 - ・ポートフォリオでは「省察」が重要
 - ・数値結果だけでは不十分 → 省察させること
- 学生の学習向上
 - 最も優れた方法
 - 学生の省察力(Power of Reflection)を引き出し、
コラボレーションを通して学びを深める(Collaborative Learning)ことができる 上級生がメンター…異分野が望ましい
 - 教員の負担を軽減し、広範で創造的アセスメント方法(Creative Assessment)を可能にしてくれる
 - 学習方法(Learning Styles)も、総合的な学びについて考えさせてくれる
 - 学習成果ではなく、学習過程(プロセス)が重視される
 - 授業改善のマニュアル
- 成績評価
 - 広範な測定範囲が網羅できる
 - これまで、客観的評価に乏しく手間がかかるとい理由で十分活用されなかった
 - 目的を考慮することなく論述試験やレポートで済ませることが多い 学習到達度を的確に評価？
- 多様な評価方法
 - 成績評価方法：授業内容や授業方法と合致しているか？
 - 後向きの評価 ~を理解したか？
 - 前向きの評価 ~をどう応用しますか？
 - アセスメント 過程・プロセス評価 → この学びがどう応用されるか？
 - エバルエーション 結果

土持ゲリー法—教授の講演資料から

- 教室内授業 能動的学習 → G学習 → G発表 → フィードバック → 問題解決学習 → 批判的態度 → 授業を疑問形で聞く
- 教室外授業 図書館 → 自学自習 → 指定図書課題 → 講義メモ → バラフレーズ → スクラッチ・クイズ → コラボレーション
→ 図書検索クイズ
- MIT方式試験 学生：試験問題・解答の作成 何を学んだかの学習過程の評価
→ 授業を疑問形で聞く
- ラーニング・ポートフォリオ ファイルの学修 → 講義メモ(証拠資料) →
学習過程の省察(振り返り) → コンセプトマップの作成
- 評価 30%記述試験…学生作成問題
70%ポートフォリオ
- 「省察」実践
 - 1.何を学んだか、なぜ学んだか
 - 2.いつ学んだか、どのような状況あるいはどのような条件下で学んだか
 - 3.どのように学んだか、逆に、学ばなかったのか、自分がどのような学習者であることが分かったか
 - 4.何を学び、学習計画や将来計画にどのように繋がったか
 - 5.学修したことで知的・倫理的成長にどのような違いが見られたか
 - 6.学習したことがどのように役立ったか
- コンセプト・マップの重要性
 - = MindMap
 - 授業内容(15回)を振り返り、各単元を繋げる
 - 点・ドット(単元)を線・ライン(コンセプト・マップ)を繋げさせる
 - 学生の創造力と集中力を高める → 教育効果抜群 手書き作業：平均4時間
- ルーブリック(Rubrics) A powerful assessment tool
学修 講義+予習+復習…15週の学び
学習成果の把握としてのルーブリック

レポートとポートフォリオ

- レポート
 - 結果
 - 客観的
 - 文語体
- ポートフォリオ
 - プロセス
 - 主観的 ∴ エビデンスを付ける
 - 口語体 シラバスも同様に口語体
学生へのメッセージ

ラーニング・ポートフォリオ
ルーブリック

